



「新しい領域に入る」

先日、会社全体で取り組んでいる生産性向上運動の発表会(コンテスト)がありました。各事業所の管理者が出席し、その数は一〇〇名近くになりました。事業所の生産性向上の取り組みを競っているのですが、その有様をみて、私達の会社も新しい領域に突入したのだと感じました。二五年前に、プレハブに一〇人程が集まって新しく訪問介護の会社を設立しました。現在従業員一〇〇〇名、事業所一〇〇〇程に成長しました。会社の回転が早く、新しい事業所の展開も順次予定されています。私達経営陣も未知の領域に入っています。会社の成長のスピードを緩めることなく会社を危険に落としめることなく、人材育成に注力して新しい領域に挑戦してまいります。



代表取締役社長 寺河 駿

「生産性向上の取り組み」

十月二十四日に、社会福祉法人友愛十字会(東京都世田谷区)の鈴木健太氏による、令和七年度愛媛県介護生産性向上推進事業に関する講演が開催されました。特別養護老人ホーム「砦ホーム」の「離職率ゼロ」への働きやすい職場づくりの横展開をテーマに、介護現場の改革事例を紹介していただきました。主な取り組みは介護ロボット・ICTの導入推進。二〇一五年の介護ロボット導入から始まり、「眠りSCAN」などの見守りセンサー、ICT記録ソフト、インカムを効果的に活用などで、過去六年間(平成二九年四月〜令和五年三月)に入職した常勤介護職員(一〇人)の離職者ゼロを達成し、介護事故の発生件数も六割削減したそうです。

また、経営方針を厚生労働省の「生産性向上に資するガイドライン」をバイブルとし、多職種協働原理に基づき、介護職をメイン職種としてサポートする組織体制を構築されました。これらの成果により、砦ホームは令和五年度介護職員の働きやすい職場環境づくり内閣総理大

臣表彰を受賞されました。この成功事例を他の施設へ広げることが目的として今回ご登壇されました。

「社内コンテストの開催」

十月二三日に生産性向上への取り組み社内発表会が開催され、有料ゆうゆうの山田管理者が見事優勝されましたので、コメントを掲載します。



この度、生産性向上の取組が評価され、最優秀賞をいただくことができました。日頃からICTに取り組んでくれている職員や支えてくださったブロックの皆様には感謝し、今後も生産性の向上と改善に努めていきたいと思っています。ありがとうございました。

「松山市の秋祭り」

十月の五・六・七の三日間は松山市の秋祭り、本番のお祭りに先立ち、お隣のジャックと豆の木園の子どもたちが手作りのお神輿を練り出し、入居者の皆さんを慰問してくださいました。今年は猛暑が続きました。今年も暑さは吹き飛ばすくらい元気な子どもたちに、ご利用者様も普段見ることのないくらい笑顔で楽しめました。



「ジャックと豆の木園」さんは、市内に認定こども園・小規模保育所・企業主導型保育所・教育付き放課後児童クラブを運営されておられ、お隣の余戸園さんからは季節折々の行事の練習する元気な声が響いていて、仕事に疲れた心をほっこりさせて頂いています。

お祭り当日は地域の大人神輿や後も神輿も訪問していただきました。六・七は平日ということもあってお祭りの雰囲気味わえない職員や、ご入居されておられる皆さんにとっては、なによりの贈り物となりました。



「十一月誕生日職員」
福利厚生の一環として正社員10,000円・パートさん5,000円の誕生日お祝い金を支給いたします。

GHあんど橋爪 真紀・ヘイマンウー/有料あすなろ北内
伊藤 杏佑・藤田 和子/有料エーデルワイス・タオクア
ンドック/GHくれない・酒井 純子・シクケンネスジム
テイボク/デイさくら・松原留美子/スマイルデイ・近藤由美/有料よろこび・菰田奈々/デイ花せん・鶴岡 三佐子・新田 純一/デイゆの季節
高橋 真美・上原 美幸/紅葉の里おだ・西山 かね子/松山居宅・忽那 由貴子/福祉用具・白石 裕馬/ゆう高岡・二神 美鈴・越智雅幸/サ高新居浜・山田 柔晴/小規模ゆうゆう針田・川西美穂子・永岡 レイ子/人事課
沖野 明美/ゆうゆう東石井
伊藤 麻未/ゆうゆう東石井
山岡 恵美・高松 純代/シヨートゆうゆう大洲・チヨージンラッ/デイゆうゆう大洲
成松 和美/大洲訪問・本田由香/ゆうゆう市坪・藤瀬 真由美/土居訪問・田上 智子/ゆうゆう西条・玉井 千草・齋藤 理恵子/デイきて民家・田坂 真紀/東予訪問・三原 さやか・網野 健一/有料かりん
村上 留美/デイ笑音・富永栄・河野 由紀/GH市営野球場前・ナン・ニン・タツウイ
ン/GHかざはや・西元 静香・リム・ローズヴィル・イピル/GH三木・笹岡 礼子・六車美和・有松 三智子/デイ悠
石谷 佐代子

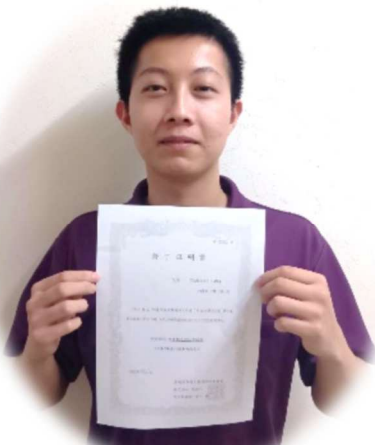


有料あすなろ北内

チャン ヒュー ホアン

私は、初任者研修の授業を受けてから、自分の仕事や考え方に大きな変化がありました。以前は、指示されたことをただ行うだけで、介護の本当の意味を深く理解できていませんでした。

研修を通して学んだことは、介護は身体的な支援だけでなく、高齢者の気持ちに寄り添い、尊厳を守る仕事だと感じました。ご利用者様の表情や仕草、声の変化など細かい所まで観察し適切に対応することの大切さを学びました。



日々仕事をしていく中で、全面やコミュニケーションの重要性も理解し、緊急時に落ち着いて対応する力や、同僚との協力の大切さも実感しました。介護職には体力づくりや前向きな姿勢、学び続ける意欲が欠かせないことを感じました。

初任者研修で得た知識と経験のおかげで、自信と責任感を高め、これからは信頼される介護職員を目指していきます。



訪問看護ステーションあんず

岡 祐記

八月より、あんずに二人目の理学療法士が入職しました。

今まで一人体制だったところが二名体制になることで、より盤石な体制で、切れ目のないリハビリテーションの提供ができるようになりました。

また、セラピスト同士の共有・介入によって多角的に物事を考えることができ、より最適で、質の高いリハビリテーションも可能になってくると思っています。



セラピスト紹介

・岡 祐記 理学療法士免許、介護支援専門員証、LSVT BIG 認定理学療法士
・浅野 駿平 理学療法士免許、スポーツ医学検定1級



利用者様、悠遊社の皆様のおかげになれるように精一杯努めてまいりますので宜しくお願い致します。

G H たんぽぽ 林

近年の異常気象による野菜の凶作や値段の高騰で家族の健康に気を使っている身としては「何とかせにゃいかん」と猫の額ほどの畑で家庭菜園を始めました。

最初は、私が仕事の合間に細々としていたが三年前に仕事をリタイヤした主人が自分で苗を買ってきて植え付け種を蒔き、水やりや除草、害虫の駆除を日課にしてくれるようになり家計的にも助かっています。今年の猛暑の中も日傘をさして害虫駆除や草むしりをし、思っていた以上の収穫量に家族で食べきれず自分で近所や職場の同僚にも配り「新鮮」と喜んで持ち帰ってもらえました。



今、我が家の畑にはブロッコリー・キャベツ・白菜・ほうれん草・小松菜・大根・聖護院大根・春菊・水菜等の苗や種が植えられ例年より数が増えています。2〜3日前から種の芽が出始めると「芽がようやく出る」と言っている主人の顔がニヤニヤしています。収穫の時間を楽しみに毎朝夕、畑で苗たちを眺めています。そろそろ間引き菜で「お浸し」か「塩もみでお漬物」にして新米と一緒に主人に感謝しつつ新鮮な野菜をモリモリ食べてこれからの冬も元気に乗り切ろうと思います。

ゆうゆう広畑 橋口 かおり

ゆうゆう広畑がオープンしてから一年半が経ちました。日々、デイサービスと施設の往復だけが日課となっていた中で利用者様間の交流や生活の中での変化を味わって頂きたいと思い、職員の間で敬老会の開催をしてはどうかとの意見が出て、全員参加で企画から考えて、九月一四日に初めて「敬老会」をさせて頂きました。ささやかではありますがお茶とお菓子を用意し、ご利用者様同士の交流として、お一人ずつ自己紹介をして頂きました。また、唄も大きな声で歌って下さいました。



ご利用者様の笑顔もたくさん見ることができ、敬老会の手作りカードや手作り歌詞カードも大変喜んで頂き「ありがとう」「楽しかった」「よかった」と言った感想も頂きました。

普段の日は一五時にコーヒードリンク・紅茶タイムを設け提供したところ、とても好評で「忙しいのにありがとう」との利用者様の言葉に支えられて日々勤しんでおります。

居宅介護松山 渡部 美穂

昨年七月、松山市北条に古川から居宅介護支援事業所（松山居宅）を移転し、現在三人のケアマネで業務を行っています。

今回は、「夢うらら」というカフェをご紹介します。北条の小高い丘の上に「夢うららカフェ」はあり、自然に囲まれた隠れ家風のお店という外観で、テラス席からは海や緑、山並み、夕焼けなどの風景を眺められるという抜群のロケーションが食事時間をより盛り上げてくれます。また敷地内には、遊歩道が整備されていて、季節の花々が植えられていて、春には啓翁桜など多くの桜が咲き、花見スポットとしても大変人気のあるカフェです。小鳥のさえずりや庭の風景を楽しみながら過ごせる時間は、とても有意義のあるものになるはずです。



このお店のメニュー・料理・食のこだわりは、「食」の安全性・健康性を意識していて、メニューだけではなく素材にもこだわりのあるようです。例えば、ご飯は雑穀米を採用、野菜・果物は国産、地元産を重視していて、とても美味です。営業時間は、九時から一七時の夕陽が沈むまでで、定休日は水曜日・木曜日です。場所 松山市善応寺甲八七二一

十月に入っても一八日に三〇・四を記録するまでは日中真夏の陽気が続き、月末は肌寒い初冬を思わす気温になりました。秋は何処へ・・・とはいえず、現実を受け止めて、日々の生活環境を変化させ、順応して風邪など引かないように気をつけたいと思います。

今回のゆうゆう新聞は原稿が予想のほか集まり、一部一二月へ掲載を延期させていただきました。記事を書くときに新聞に向けたものと、webでの掲載との表現やタイミングが違ってくるため、単純にWebへ掲載すればいいというわけにはいきませんが、キャバは無限に近いものがありますので、「ホームページへ掲載してほしい」と記載して広報あてにメール頂くと可能な限り掲載させていただきますと思います。また、施設のページの改修が遅れておりますが、部署の引っ越しやIT関連の業務がめいっばい詰まっておりますので、今しばらくお待ちいただければと思います。



発行 株式会社悠遊社
編集 広報担当
連絡先 愛媛県松山市余戸南 二、二四、三十八
電話 〇八九九六五一一九九〇
連絡先 koho@yuyusa.co.jp
配布 毎月五日(基準日)